



国土交通省技監 谷口 博昭

ふと「道ってなんだろ
う」と、思いました。
道路行政に携わっている
者は、税の性格もあり
車社会を意識した道路造
りへ、傾斜しがちだった
ような気がします。「道
路」には、先進技術を集

能忠敬の列島測量を持ち
出すまでもなく、吉田松
陰も坂本竜馬も、ついこ
の前まで全国を歩いて旅
し、各地で朋友と酒を酌
み交わして談論風発、天
下国家を論じました。

私の故郷に近い熊野古

化し、地域再生が叫ばれ
ています。このためにも
「歩く道」の良さ、歩く
ことの大切さが、再認識
される必要がある、と思
います。フォーラムに一
緒に参加した日本ツーリ
ズム産業団体連合会の船
山龍二会長も言われまし
たが、旅の仕方も変わっ
てきたそうです。温泉に
つかり、美味しいものを
食べるだけではない旅。
や祈願のために歩いて詣
でました。そこには道路
でました。そこには道路
や地域の特色を体験した
り、交流し、学習する。
そんな人たちが増えてい
る、と。

NHKのBS放送で
めた高速道路をイメージ
「街道でくてく旅」とい
う番組をやっています。
先日「世界遺産日光の未
来—文化遺産を支える地
域力」という、日光街道
踏破記念フォーラムに参
加しました。しっとりし
たたたずまいの杉木立に
ついたのです。伊

考えてみれば「道」が
文化を伝え、地域の風土
を形成してきました。

な生活が営まれ、地域の
歩くことの新鮮さを感じ
ながら、それにふさわ
しい道づくりも重要なだ、
と思いました。

谷口 博昭

「歩く」新鮮さ大切に

今、地方の疲弊が問題
開まれた街道を歩いて、
「車の道」になったのは
つい最近のことです。伊

歩くことの新鮮さを感
じながら、それにふさわ
しい道づくりも重要なだ、
と思いました。